

会 議 録

(5 - 1)

会議の名称		令和 8 年度 第 1 回 庄和地区地域づくり推進協議会		
開催日時		令和 8 年 8 月 1 8 日（火曜日）	開 会	午前 9 時 3 0 分
			閉 会	午前 1 1 時 0 0 分
開催場所		庄和市民センター正風館 2 階視聴覚室		
議長(会長等)氏名		会長 細谷 悟		
出席者	委員氏名	細谷 悟、森田 伝、嶋村 清、新井 勝、松原 睦、加賀谷 徳之、磯村 幸一郎、		
		早坂 総、坂本 宏子(出席人数： 9 人)		
	説明者事務局	市民生活部参事 清水 一男 庄和地区センター所長 角田 尚之		
		庄和市民センター 根本 護、渡部 大輔、山口 智恵子(出席人数： 5 人)		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1	開会	
		2	委嘱状交付	
		3	挨拶	
		4	報告事項について	
		(1) 令和 7 年度 庄和地区市民センター正風館の事業報告について		
		(2) 令和 7 年度 庄和地区地域づくり推進協議会の協議結果について		
		5	協議事項について	
		・課題解決のための具体的な手法の検討について		
一部公開・非公開の場合はその理由		6	その他	
		7	閉会	
		※(すべて公開)		
配布資料		☐	要綱第 3 条第 1 号該当：	
		☐	要綱第 3 条第 2 号該当：	
		☐	要綱第 3 条第 3 号該当：	
		☐	要綱第 3 条第 4 号該当：	
会議録の作成方法		別紙 1 庄和市民センター(地区センター)の事業報告について		
		附属資料 広報かすかべ 7 月号(記事抜粋)		
		別紙 2 令和 7 年度 庄和地区地域づくり推進協議会 開催結果まとめ		
		別紙 3 令和 8 年度庄和地区地域づくり推進協議会の会議等の進め方について		
会議録署名の指定		別紙 4 市民センターを拠点とした地域づくりについて		
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録		
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
市 長	【１．開 会】 【２．委嘱状交付】 《岩谷市長から新たに選任された委員へ交付》
事務局	出席者の報告。委員１３名中９名の出席があり、春日部市地域づくり推進協議会条例第７条第２項に規定する過半数に達しているため、会議の成立を報告。
事務局	会議公開の報告。会議公開制度の対象であること、春日部市地域づくり推進協議会傍聴取扱要領第２条の規定に基づき、傍聴人定員を８名としたことを報告。
会 長	【３．挨拶】 《細谷会長 あいさつ》
市 長	《岩谷市長 あいさつ》 ※あいさつ終了後、公務のため、市長退席。
事務局	【４．報告事項について】 春日部市地域づくり推進協議会条例に基づき、会長に議長、議事進行を依頼
議 長	議事録署名人として加賀谷委員を指名。 傍聴人が２名いることを報告し、委員の総意により、入室を許可。
	報告事項（１）令和７年度 庄和地区市民センター正風館の事業報告について、事務局より説明を求めます。
事務局	（１）令和７年度 庄和地区市民センター正風館の事業報告について 《別紙１および附属資料のとおり説明と報告》
議 長	事務局の報告について、意見やご質問はございますか。 《委員からの質問、意見は特になかったため、次に進行》
	続いて、（２）令和７年度 庄和地区地域づくり推進協議会の協議結果について事務局より説明願います。
事務局	（２）令和７年度 庄和地区地域づくり推進協議会の協議結果について 《別紙２のとおり報告と説明》
議 長	別紙２の「地区としての取り組みテーマ・概要」の部分をもう一度読み上げていただきたい。
事務局	《別紙２「地区としての取り組みテーマ・概要」部分読み上げ》
議 長	《補足として、自治会連合会としての令和８年度自主防災組織連絡協議会に関する説明と報告》

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	【 5 . 協議事項について】 協議事項 課題解決のための具体的な手法の検討について、事務局から説明を求めます。
事務局	令和 8 年度庄和地区地域づくり推進協議会の会議等の進め方について ①令和 8 年度のスケジュールについて ②会議の進め方について 《別紙 3 のとおり説明》 令和 8 年度庄和地区地域づくり推進協議会 市民センターを拠点とした地域づくりについて ・ 市民センターのあるべき姿 ・ 現状と抱える課題 ・ 課題解決の方向性 ・ 中間報告 ・ 中間報告の活動展開 ・ 協議会を推し進める指針 《別紙 4 のとおり説明を実施し、審議を依頼》
議 長	まず、スケジュール等について別紙 3 の資料については、このような形で進めていくということで、ご理解はいただきましたでしょうか。 《委員より異論の声等なし》
議 長	《補足として、庄和地区の広い地域性を踏まえた方向性と自治会連合会組織としての立場からの現状説明と報告》 体育祭実行委員会においては、『交流会』としてコラボレーション企画の設定が予定されていることの報告。 公民館まつりについては時期的に間がないため、白紙状態である。 委員の皆様から意見や見解等、何でもいいのでお話しいただきたい。
委 員	災害は何時起こるか予測できない。そのような中での防災体制の構築についての方向性はこれからの部分だが、地域の方の防災に対する意識を高める必要がある。
委 員	私の地区では毎年防災訓練を行っており、こどもも誘いながら、参加者を増やす取り組みに努めている。
委 員	イベントについては、要請があれば協力は惜しまない。有事の折、中学生は、非常に大きな担い手になる。積極的に共に取り組ませていただきたい。
委 員	防災訓練もイベントもこどもや児童生徒が集まるものになれば、保護者や地域の方も集まる催しになると考えており、協議会でも考えていければと思っている。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	熊本地震、千葉の豪雨と防災に関しては、関心が高いタイムリーな案件だと思う。市民の方もとても関心あると思うので、企画を考える中であまり高い目標ではなく、確実にここまでいけることを前提とした企画にしていくといいと思っている。
委 員	資料がとても良くまとまっている。体育祭の話と公民館まつりの話について、日程的に今年度は間に合わないかもしれないが、ここに中長期的問わずと書いてあるので、今後の方向性みたいなかたちで議論していければと思っている。
委 員	公民館まつりは、ひとつブースを作り、小中学生に携わっていただき、災害の義援金を募る箱などを設置し、防災等について訴えかけたりする内容で、即参加することが可能だと思われる。
副会長	防災についてはもう地区だけの問題ではない。広域的な協力体制が必要な時代になってきている。庄和地区もかなり広い。協力して意識を高めてやらなければならない。市が実施する防災の催し等に地域の防災をタイアップすればいいと思う。体育祭は、区対抗の意識が強すぎるので参加者が減っているのではと思っている。みんなでできることをするとか、正風館のサークル対抗競技をつくる等、お祭り雰囲気、今までより一歩踏み出さかたちでできればよいと思う。
議 長	ありがとうございました。各委員の発言について下記のとおりコメント。 ・ 平時での災害と夜間に起きる災害では活動、行動が違ってくるので、具体的にどうやっていくか、今後詳細を考える必要があると思っている。それを自治連合会と一体となり、上手くやっていければと考えている。自治連合会主体ではなく、庄和地区全体としての考え方の中で進めたいと思っている。 ・ 自治連合会主催ではなくて、市民一体となった皆さんで盛り上げていこう、特に、若い人たちを集めてやっていくということが求められているし、それに向け、意識的にやっていこうという話になっている。 ・ イベントについて10月は体育祭と認識していただきたい。11月に関しては、公民館まつりが実施可能で、できたらいいなという観点で絞り込んでいるが、他に何かいいものがあれば都度候補には含めていく。2つのイベントは、試行として、やってみるものだ把握、認識していただければ幸いです。 ・ 公民館まつりについては、公民館主体として企画していただく方法もあるという考えなので、検討することもこの場で決めていただくのもよいと思う。
議 長	《総括として》 ・ 防災については、運営的にどうするということについて、ある程度主体性を持った考え方の中で、求めていってよいのかなと思うところである。 ・ 公民館まつりの具体的な話があったので、ここは議論の場とさせていただければと思っている。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員 議長 議長 議長	・今年度中に何かやらなくてはいけないという話ではなくて、あくまでもこういうかたちで、庄和地区としてやっていきたい、そのためにはこういうものが環境づくりとして必要なことがこう、答申としてこういうことを求めるというところを最終的にまとめるかたちだと思っており、焦ることはないと考えている。 《委員間における学校相互の取り組み、発信に関する情報交換》 【 6. その他】 その他、委員の皆様から何かあるか。 《意見なし》 事務局から連絡事項等はあるか。 《連絡事項等なし》 以上で協議を終了とする。これをもって、本日の議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。 《議事終了、傍聴人退席》 【 7. 閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 8 年 9 月 1 日 署名者の職 ・ 氏名 庄和地区地域づくり推進協議会 委員 春日部市立中野小学校校長 加賀谷 徳之(原書は自書)	